

# 私たちの町の文化財

## ■第9話 北岡古墳

北岡神社南側の崖面には古墳時代の横穴墓があります。現在も残っていますので、見たことがある方も多いでしょう。また、万日山にも立派な古墳があったことは有名です。実はそれ以外にも、北岡神社の境内にもかつて古墳があったことをご存知でしょうか。

明治25（1892）年、北岡神社改築の際にその古墳は発見されました。これはいったん境内の一面に埋め戻されましたが、大正11（1922）年に再調査されました。

調査の記録には円形盛土の中から石室を発見したとありますので、円墳だったのでしょうか。注目すべきは記録に残された石室の図です。と言うのも、石で作った棺の中をT字形に仕切って、2人分の埋葬スペースや副葬品を置くスペースを作っているように見えるからです。これは、古墳時代の石棺の形としては異様なのです。当時の熊本の横穴式石室には似た形態のものがありますから、これが石棺と融合したものなのではないでしょうか。

古墳の副葬品としては銅鏡、勾玉、耳飾、土器、鉄器などが出土したようです。人骨は壮年の男女で、赤色顔料が著しく付着していたとのこと。6世紀頃のものではないでしょうか。

熊本市文化振興課 三好栄太郎氏

石棺配置図

北岡古墳出土の銅鏡

花岡山！北岡神社！  
こんな身近に古墳が  
あったとはビックリ  
するモン

